

こんにちは!

由利本荘市議会です



亀田きてくはれサロン(岩城地域・高城センター) / 10月8日

9月定例会

- 令和5年度決算を認定 ▶P2
- 8月臨時会・9月定例会 審議結果 ▶P3
- 8月臨時会・9月定例会トピックス ▶P4
- 政策提案のための委員会所管事務調査 ▶P7
- ここが聞きたい 一般質問 ▶P10
- 市民と語る会 ▶P14
- お知らせします 議会の動き ▶P15
- 愛LOVEゆりほんじょう ▶P16

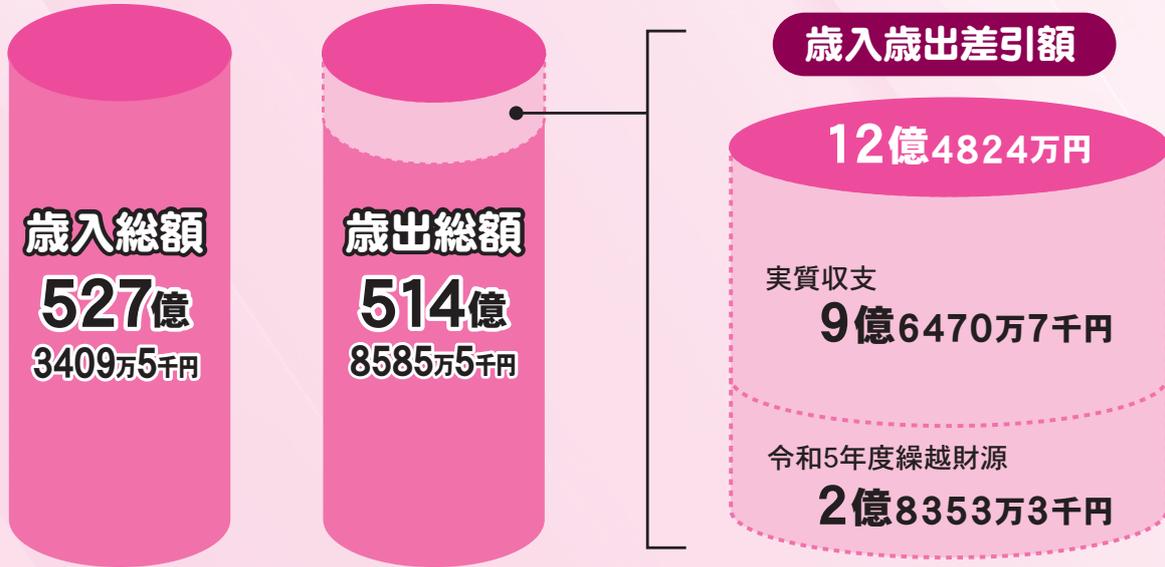


トランプを楽しむ参加者

 由利本荘市議会だより
令和6年 / 2024年11月1日 第78号

令和5年度決算を認定

令和5年度 一般会計決算



実質収支は**9億6470万7千円**の黒字

10特別会計の状況

予算現額	歳入	歳出	歳入歳出差引額
98億9162万8千円	99億2185万9千円	98億3431万円	8754万9千円

10 特別会計…国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、診療所運営特別会計、情報センター特別会計、奨学資金特別会計、介護サービス事業特別会計、スキー場運営特別会計、小友財産区特別会計、北内越財産区特別会計、松ヶ崎財産区特別会計

企業会計の状況

区分	総収益	支出
水道事業	24億6438万7千円	21億7506万円
下水道事業	31億 205万4千円	30億9376万2千円
ガス事業	12億8064万3千円	12億1002万円

市債残高の状況

年度比較	令和5年度	令和4年度
市債残高計	638億5388万5千円	649億3439万5千円
市民1人あたり	895,754円	898,397円
当該年度末人口	71,285人	72,278人



8月臨時会

可決

契約関係 (主なもの)

- ◆市道森子前郷線（森子橋）橋梁撤去工事（第1期）請負契約の締結について
契約金額：2億6400万円
契約の相手方：村岡・山科・菊地工業特定建設工事共同企業体
- ◆由利本荘市立本荘東小学校 校舎棟A工区 建築主体工事請負契約の締結について
契約金額：10億9780万円
契約の相手方：長田建設・菊地建設特定建設工事共同企業体
- ◆由利本荘市立本荘東小学校 校舎棟B工区 建築主体工事請負契約の締結について
契約金額：8億9815万円
契約の相手方：塚本建設・伊藤建友特定建設工事共同企業体



9月定例会

人事案件

- 監査委員（任期：4年）
高橋真理子氏（再任）大内地域岩谷

同意

人事案件

- 人権擁護委員（任期：3年）
新田実生子氏（再任）矢島地域城内

異議なし

契約関係

- ◆新ごみ処理施設整備事業に伴う敷地造成工事及びアクセス道路整備工事請負変更契約の締結について
変更後の契約金額：6億9539万1400円
契約の相手方：村岡・木内・高橋秋和特定建設工事共同企業体

可決

条例関係

- 由利本荘市国民健康保険条例の一部を改正する条例案

可決

その他 (主なもの)

可決

- 本荘由利広域市町村圏組合と由利本荘市との間の介護保険者に関する事務の委託の廃止について

陳情結果

趣旨採択

- 陳情第2号（継続審査中）
年金制度における外国人への脱退一時金の是正を国に求める意見書提出についての陳情
小坪慎也

採択

- 陳情第9号
豊かな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引上げを図るための2025年度政府予算に係る意見書提出についての陳情
秋田県教職員組合 執行委員長 小林久美子

委員会発案

可決

- 委員会発案第2号
教職員定数の改善と義務教育費の国庫負担割合引上げを求める意見書の提出について

意見書提出

衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 総務大臣
財務大臣 文部科学大臣





8月臨時会・ 9月定例会のトピックス



8月臨時会が、8月7日に開催され専決処分報告（補正予算）2件、契約7件、補正予算案1件が可決されました。

また、9月定例会が、8月28日から9月25日までの29日間の日程で開催され、専決処分報告（補正予算）1件、令和5年度決算認定14件、人事案件2件、条例案1件、補正予算案13件、契約案件1件、その他5件の案件37件が審議され、すべてが原案のとおり可決されました。

また、継続審査中のものを含む陳情2件の内、採択は1件、趣旨採択1件となりました。

文中の記号は次のとおり所管委員会を表しているものです。

⑧ … 総務常任委員会 ⑨ … 教育民生常任委員会 ⑩ … 産業建設常任委員会



市道久保田大森台線



板戸川にかかる惣七橋への流木の堆積（東由利館合）



堤防が決壊した西目川（西目町西目）

7月24日からの豪雨災害について

水稲等冠水被害	6億4828万円（888.67ha）
栽培施設等被害	5億8068万円
農地・農業用施設被害	80億446万円（3434箇所）
林道施設被害	4億149万円（282箇所）
山地被害	18億7900万円（45箇所）
道路被害	72億9103万円（548箇所）
河川被害	36億1678万円（192箇所）

（9月30日時点）



土砂崩れの箇所（由利地域堰口）

鳥海山ろく線の災害復旧支援

豪雨災害による復旧事業を支援します。

問 被災内容と支援内容は。 **総**

答 豪雨の被災箇所については、11箇所。災害総額約7040万円。

負担割合は、国庫補助4分の1、県8分の1、本市8分の1、鉄道事業者負担2分の1。

県と市は、国の災害復旧事業補助金を活用が可能となる。鉄道事業者は、第三セクター鉄道等協議会土木構造物保険を利用する。



黒沢架道橋崩落現場

被災者見舞金支給費 220万円を補正

7月の豪雨により被災された方に見舞金を支給します。 **教**

問 支給対象や支給額は。

答 自然災害により住家の全壊、流失、半壊または床上浸水の被害を受けた方が対象。罹災証明の被害の内容により、全壊10万円、半壊5万円、準半壊及び床上浸水は2万円の見舞金を支給する。

自宅敷地内の土砂の 撤去費助成金

豪雨災害での土砂撤去費を助成します。 **総**

問 助成の内容は。

答 住宅、非住家、宅地において日常生活に支障や、使用が困難と認められたとき、対象経費の2分の1以内(上限60万円)を助成する。

災害救助法に基づく住宅の 応急修理制度

豪雨被害に対して、被災住宅の応急修理に係る委託料2509万円を専決処分により予算措置したものです。

問 制度の概要は。 **産**

答 災害により住宅が一定の被害を受け、自ら修理する資力のない世帯が対象となる制度。被災した住宅の居室・台所・トイレなどの日常生活に必要な最小限度の部分の応急的な修理について、市が修理業者に依頼し、修理費用を直接業者に支払う。「半壊」以上が35件と想定し、予算措置をした。

被災住宅特定空家化対策事業

7月24日からの豪雨で被災した住宅の解体工事費用の一部を補助します。

問 事業の内容は。 **教**

答 被災した住宅が空き家として放置されることを抑止するとともに、その住宅の解体工事に要する費用の一部を補助する。補助対象住宅は個人の住宅で半壊以上と認定されたもの。補助金は補助対象経費の2分の1以内(上限50万円)とする。

久保田集落センター改修

豪雨災害に伴い改修補助金を追加します。

問 補助の内容は。 **総**

答 平成29年に市から譲渡された建物。豪雨災害には、災害救助法が適用されたことから、補助率を3分の2にかさ上げし、集会施設改修補助金86万8千円を追加する。



豪雨災害で改修補助金が追加された、久保田集落センター

東由利・湯楽里の源泉引湯管 修繕および売上減少補填

豪雨災害によって破損した黄桜温泉「湯楽里」の源泉引湯管の修繕費を、予備費により対応しました。また、「湯楽里」を運営する市の第三セクター・株式会社黄桜の里に対し、温泉部門の売上減少分を補償補填するものです。 (産)

問 修繕と補償補填の概要は。

答 7月24日からの豪雨により、黄桜温泉湯楽里の源泉引湯管が破損、流出したため、仮設管復旧及び本復旧修繕費用146万円を、予備費により対応した。

また、黄桜の里に対し、温泉部門の営業休止期間の売り上げ減少額144万円を補填する。

三セク・フォRESTA鳥海に 補助金

「フォRESTA鳥海」を運営する市の第三セクター・株式会社フォRESTA鳥海に、1800万円の運営資金を補助するものです。 (産)

問 補助の背景は。

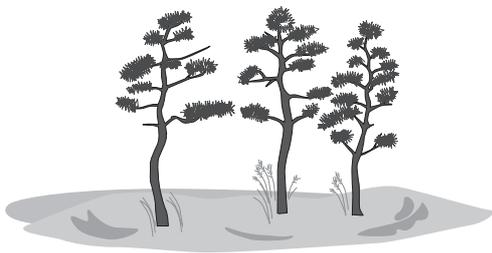
答 新社長が就任する前までの第1四半期(4月～6月)の純損失額相当額(1310万円)を支援する。そのほか、従業員の育成や営業活動、イベント企画などに必要な経費として、相当額(490万円)を支援する。

松くい虫被害防止事業費 補助金の増額

松くい虫被害木の伐採などを対象に事業費を増額補正するものです。 (産)

問 増額の背景は。

答 当初予算である700万円を上回る事業実施要望に対応するため、739万円を増額し、補正後の額を1439万円とする。



森子橋の橋梁撤去

市道森子前郷線(森子橋)橋梁撤去工事(第1期)の請負契約を2億6400万円で締結します。

問 撤去の経緯と予定は。 (産)

答 昭和45年9月に竣工し供用を開始した森子橋は、平成29年度の橋梁診断において「早期措置段階」と判定された。平成21年からは桁下余裕高の不足を指摘され、豪雨時には水防団による通行止め措置を実施している。

令和6年度は第1期工事として、上部工及び橋脚1基を撤去する。令和7年度に橋脚2基を撤去、令和12年から13年度に国道切廻しを行い、橋台を撤去する予定である。



解体計画された森子橋

新ごみ処理施設敷地造成及び アクセス道路整備工事変更契約締結

現地調査の結果、法面の工事内容などを変更します。 (教)

問 具体的な変更内容は。

答 アクセス道路法面工を種子散布から植生基材吹付に変更。造成エリアの雨水排水を適切に処理するための盛土配水管布設工などを追加。3539万1400円の増額となる。



造成が進むアクセス道路

政策提案のための委員会所管事務調査

市議会では、政策の提案や提言を目指して事務事業の調査を行っています。

この調査は、常任委員会（総務・教育民生・産業建設）ごとに所管する事務事業からテーマを定め、2年間（令和5年11月から令和7年10月）の期間で実施しています。
この度、中間報告を取りまとめましたのでお知らせします。

総務 常任委員会

地域公共交通について

…先進地視察先…

7月8日～10日

- 北海道北見市
- 北海道弟子屈町
- 北海道札幌市

1. はじめに

人口減少や少子高齢化の将来にわたって持続可能な交通体系を構築することは重要な課題である。「生活の足」を守るため、本市の実態に即した公共交通の在り方を検討するとともに、利用促進策やデマンド交通など、先進地域の公共交通を参考に課題解決を図ることを目的とし、調査研究するものである。

2. 中間報告

(1) 現状と今後の課題についての方 向性

地域公共交通計画や交通対策についての基本的な考え方、市民アンケートの活用、利用者数目標の達成状況などの現状把握を行い、本市の方向性と今後の課題解決に向けて調査研究する。

(2) 先進地域の視察から ①北海道北見市

公共交通空白地域は無く、路線バス運賃は均一で、どこからでも乗れるデマンドバスとして運行している。また、路線バスの位置情報が確認できるバスロケーションシステムの実証実験を行っており、待ち時間の短さなど好評を得ている。さらに、利用者の少ない路線では、代替えとしてスクールバスの混乗化運行をしている。

②北海道弟子屈町

公共交通を観光に活用するため、えこパスポート事業2日券、3日券で期間中乗り放題とし、繁忙期は観光地への増便を行っている。



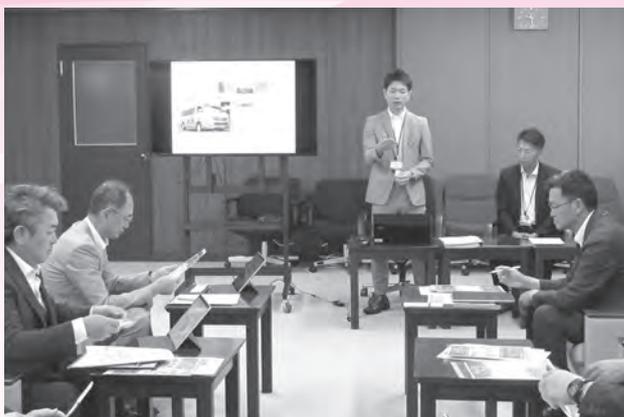
観光地での公共交通活用に取り組む弟子屈町にて



カーリング「ロコ・ソラーレ」のまち北見市にて

③北海道札幌市

利用者が少ない循環バスの代替として一地域、路線バスの代替として一地域でジャンボタクシー一台を利用したデマンド交通実証実験を行っており、予約制の運行で、事業者協賛制度があり、協賛金により停留所設置や車内広告などを選べるシステムとなっている。



世界に誇る急生長した札幌市にて

(3) 今後の取り組み

地域のニーズに合った交通体系、地域で運行している車両の有効利用など、本市の課題に対して、参考になる事例も多く、今後も検討していくべきと考える。

教育民生 常任委員会

子育てにやさしい 環境づくりについて

…先進地視察先…

7月8日～10日

●大阪府大東市

●岡山県奈義町

1. はじめに

全国的に少子化の進展が加速する中、本市においても少子化対策としての子育て支援の充実が喫緊の課題である。現在、本市では「第2期由利本荘市子ども・子育て支援事業計画」に基づき支援の充実に向けたさまざまな取り組みがなされているが、未だ課題も多い。そこで、先進地の取り組みから、本市における子育て支援施策の充実につながればと考え調査研究するものである。

2. 中間報告

(1)本市の現状と課題についての分析
子ども家庭総合支援拠点や「ふぁみりあ」における相談件数はそれぞれ年間300件を超過。相談内容は多岐にわたり子育て世代の悩みや不安が浮き彫りになった。



明るい雰囲気の相談室



子育て世代包括支援センターふぁみりあ

一方で、ファミリー・サポート・センター事業は年間延べ利用件数は20件と低調であった。その他、アンケート調査などから出産から子育て期における切れ目のない支

援（経済的支援、悩みや不安への支援）ワンストップ型の子育て支援、安心して過ごせる居場所づくりなどが課題として浮き上がった。

(2)先進地域の視察から

①大阪府大東市

市内を網羅する形で子育て支援拠点があり、気軽に施設を利用し相談できる環境が出来ている。また、ファミリー・サポート・センター事業の利用率も高く、子育てを支える体制が整っていることがうかがわれた。



大東市すこやかセンター

②岡山県奈義町

少子化対策は最大の高齢者福祉と位置付け、令和元年には合計特殊出生率2・95を記録した。経

済的支援の他、地域のつながりを生かした「メンタル的支援」の充実が特筆され子育ての悩みや不安に寄り添った支援が充実していた。



奈義町の子育て支援についての講話

(3)今後の取り組み

本市の現状と先進地視察の調査により、経済的支援もさることながら、メンタル的支援の充実も重要と感じた。今後、本市の子育て世代の声を聞く機会を設け、本市の実情に沿った支援の在り方を探っていきたいと考える。



産業建設 常任委員会

再生可能エネルギー（特に洋上風力発電事業）促進における地域活性化について

…先進地視察先…

7月10日～12日

●福岡県北九州市

●長崎県五島市

1. はじめに

2030年には本市沖において国内最大級の着床式洋上風力発電の稼働が予定されるとともに、国内で初めて浮体式で大型の風車による実証事業も行われることが決定し、全国的にも注目されている。

本市沖で計画が進む洋上風力発電関連事業が、本市にどのような経済効果があり市民にどのような恩恵をもたらすことができるかを具体的に示すことが課題であり、当委員会としても関連事業のメリットやデメリットを明確にとらえ、当局に提言することが喫緊の課題であると考える。

2. 中間報告

(1)本市の現状と課題についての分析

洋上風力発電事業は、カーボンニュートラルを目指す我が国への取り組みに大きく寄与するほか、当局からの聞き取りにより、本市において

も固定資産税の増収や出捐金収入などの財政面、雇用や観光などの産業面における大きな効果が期待できることを改めて認識した。しかし、施設や港湾整備における効果や活かす方については引き続き調査・研究する必要があると考える。そこで、先進地での取り組みを視察し、地域に与える経済効果などの実例について調査することとした。

①福岡県北九州市

「グリーンエネルギーポートひびき事業について」をテーマに視察を行った。

同市では、積み出し建設拠点・製造産業拠点・O&M拠点・物流拠点の4つの機能を持つ総合拠点の集積を目指しており、北九州市沖における洋上風力発電のみならず、日本および東アジアの洋上風力発電の拠点としての役割を強化するなど、大規模な産業開発に取り組んでいるという印象を受けた。もとも鉄鋼業が盛んなまちであり、強い港湾インフラや環境のノウハウなど、地元



風力発電関連産業の総合拠点をめざす北九州市での視察

の強みを最大限に活かしながら、地元産業も大きく関わっていると感じた。また、O&Mの拠点となるためには、小型の部材や工具を使い、比較的小規模な設備で対応する日常的な点検や簡単なメンテナンス、広い敷地と大きな船が入れる港湾施設が必要となる大型のブレードを交換するような大規模なメンテナンスの両方に対応する必要があるとの考えを伺った。

②長崎県五島市

「観光振興計画について」及び「再生可能エネルギー促進における地域活性化について」をテーマに視察を行った。

同市では、浮体式洋上風力発電により得た利益を基金として積み立て地域に還元する取り組みが印象的であった。また、観光振興計画の策定にあたっては、行政の一方的な意見のみならず、観光協会や商工会議所、宿泊施設、交通事業者、特に観光現場に近い人々など多様な人々から意見を聞き、具体的な事例を共有した取り組みについて印象的であった。環境学習や民泊、富裕層向けなど様々な観光ニーズに対



メンテナンス中の浮体式洋上風力発電設備の視察

応する取り組みについても参考となり、老朽化が進む観光施設の財源確保に向けた検討も課題であると感じた。

(3) 今後の取り組み

本市においても再生可能エネルギーの促進により、様々な形で地域の活性化につながると感じた。しかし、当該事業による影響を最大限に活用していくには、早いうちから計画していくことが重要であると考えます。また、行政や関連事業者のみならず、観光業も含む地元企業や市民とも協力し、その活用に向けて協議を進めていくことが重要である。

今後は、これまでの調査で得た知見を本市でも活用することができると、どのように活かすべきかなどを含め、引き続き再生可能エネルギーの促進による地域活性化に向けて、地元企業や市民の関わり方などの具体的な方策について研究していきたいと考えています。



波風があっても揺れない浮体式洋上風力発電

各常任委員会の
中間報告は
市のホームページで
ご覧になれます。



一般質問

一般質問とは、議員が行う市政全般についての質問です。すべての質問項目は次のとおりです。(内容を掲載している項目番号には、○をつけています。)

10P 高橋信雄 (高志会)

1. 災害対応のタイムラグ等の検証について
- ② インフラの点検と改修について
3. 法定外公共物の災害復旧と責任の所在について
- ④ 災害時の被災地、被災者との連絡体制について
5. ライフラインの確保について、断水の原因は何か
6. 激甚災害指定について
7. 新ごみ処理施設整備事業の計画4年先送りについて

11P 小川幾代 (立憲民主党)

1. 県で行う18歳までの医療費助成による影響は
2. 新型コロナウイルスワクチン定期接種とインフルエンザワクチン任意接種への費用助成について
- ③ 町内会解散への対応は
4. クーリングシエーターの実施状況は
- ⑤ 路線バスの運行路線廃止とその後の対応について
- ⑥ 学校敷地内の遊具の修理について

12P 佐々木隆一 (日本共産党)

1. 大雨被害・各河川の浚渫と堤防の高上げを急ぐべき
2. 地方自治法改正で災害対応などへの影響は
- ③ マイナ保険証への対応は
4. コロナ医療に経済支援を要請すべき
5. 子ども医療費の「窓口負担復活」促す新たな通知への対応は
6. 保護司の実態を把握し安全に配慮を
- ⑦ 開かれた教科書採択を

11P 阿部十全 (無所属)

- ① 災害対策について
- ② 洋上風力発電の固定資産税について

12P 佐藤健司 (高志会)

1. 財政運営について
- ② 人口減少対策と市活性化策について
- ③ 農業振興策について
- ④ 産業振興策について

13P 泉谷赴馬 (高志会)

- ① 今般の豪雨災害への対応と影響、今後起こりうる災害への対策について
2. IT・AIツールの利活用について
3. 「起業するなら由利本荘市で」をキャッチフレーズとした起業支援施策について



9月定例会では、6人の議員が質問に立ちました。YouTube配信をQRコードよりご覧になれます。



答 沿川の皆様の不安の早期解消を求め、明法、森子地区子吉川左岸の堤防かさ上げについて具体的な計画策定に着手していただけるよう国に働きかけを強く行っていく。

「子吉川圏域流域治水協議会」において再度災害防止に向けた「水災害プロジェクト」の立ち上げが決定し、越水や決壊のあった流域治水対策の加速化に向けた取り組みを始めたところである。

問 由利地域黒沢踏切より子吉川上流に向かうと左岸堤防が右岸に比べて1メートル以上低く、今回越水し住家浸水被害に遭われた。

堤防かさ上げの改修工事を強く望む。

子吉川左岸の早期改修で不安解消を



高橋信雄 (高志会)



答 災害対策基本法施行令には、市が避難所として指定する条件が示され、さらに市地域防災計画では、対象とする異常な気象現象の種類ごとに避難所が定められている。

また、多くの地域の集会所などは、指定避難所として指定されていないが、発災時に避難者などが自ら開設する広義の避難所として、類型のひとつに位置付けられる。

問 地すべり地域が多く、地域の集会場などが避難所に指定されていない。

自主避難の一時避難場所としては評価できるが、マニュアルから外れるものか。

指定されない集会場などへの避難の在り方は



阿部十全
(無所属)



災害対策は

問 災害時情報伝達方法としてホームページや防災メールも重要だが、声が直接届く広報車の活用は。

答 広報車両は消防関係を除き全市で30台、各総合支所に最低1台配置されている。土砂災害・全国統一防災訓練で、広報車での避難指示などを周知する情報伝達訓練を実施している。情報提供は被災された方々に寄り添う手段の一つとして必要に応じ実施していく。

問 避難行動要支援者の避難所利用が無かったこととの状況と検証について。

答 住民の避難行動の実施については、自主防災組織の活動状況や被災者の生活再建状況、避難指示発令、避難誘導などのタイミングについて調査・検証を行っていく。避難行動要支援者の方

が躊躇せず避難行動を行えるようにさらに研究を進める。



7月25日朝の様子(石沢上野)

洋上風力発電の
固定資産税について

問 特例措置による軽減や見直しなどがあり、不確実な収入だが、事業者から確実に事業開始の確約があったのか。

答 事業者より2030年末の運転開始を目指していると伺っており、それを前提に課税を見込んでいる。財政見通しについては、現時点で限られた情報の中で推計を行ったもので、あくまでも試算であることを考慮し、年5億円程度とした。

町内会解散のリスクは

問 町内会解散についての相談への対応は。

答 町内会のイベントがなくなること、コミュニティ機能の減退に繋がり、地域の防犯・防災力の低下を招くなど、よりよい生活環境を確保することができなくなる懸念が生まれる。このほか、ごみステーションの管理、集会所の取り扱いなどの課題も生じることを伝えている。



小川幾代
(立憲民主党)



移動手段の確保

問 路線バス廃止への対応は。

答 運送業の働き方改革による勤務時間の縮減と慢性的な運転手不足など、路線の維持が極めて厳しい中、2路線について事業者から廃止協議の申し出を受け、検討している。

岩谷線は大内地域を運行するコ

校庭遊具の早期修理を

問 遊具の総点検後、修理の優先順位は。

答 全ての小学校を対象に、今年5月から7月にかけて安全点検をしたところ、7校に状態の悪い遊具が9基確認された。子ども達の安全を第一に考え「安心・安全」な教育環境の維持に努めている。遊具の修理については設置の年数、使用頻度、現在の状況、各学校における遊具の数や種類を総合的に考慮しながら優先順位をつけている。

コミュニティバスを延伸し、本荘地域内の交通結節点まで運行する。赤田線は児童・生徒の通学はスクールバスの運行を教育委員会と協議しており、一般の利用者については乗り「逢い」交通事業を赤田地区との対話会にて提案している。



使用できない複数の遊具



佐藤健司
(高志会)



人口減少対策と市活性化策は

問 結婚支援策と子育て支援策は。

答 「アベイバプロジェクト」は、若者同士の出会いの場を創出するイベントとして好評で、結婚新生活支援事業のアンケート結果からも結婚を後押しするものとなっており、人口減少の抑制に一定の効果が見込めるものと考えています。子育て支援策については、伴走型の相談対応や、子育て支援センター「あおぞら」などでの相談機能の充実を図るなど、不安や悩みを解消できるように切れない効果的な施策の展開に努めます。



子どもプラザあおぞら

農業振興策は

問 子牛価格、牛肉の枝肉価格の低迷打開のため、秋田由利牛販売拡大の方策を。

答 「秋田由利牛振興協議会」が主体となり、都内スーパーや首都圏の飲食店に対し取扱量の拡大についてお願いしているほか、キャンペーンやイベント出店、市内小学校給食への食材提供などに加え、SNSによるプレゼント企画を始めたところである。こうした取り組みの充実強化を図りながら、消費拡大に向け後押しする。

産業振興策は

問 育成就労制度への市の対応は。

答 外国人労働者の受け入れに当たっては、2027年に「育成就労制度」が導入される予定である。本人の意向による就労場所の変更も可能となり、都市部への人材流出も懸念されている。市としては、企業や労働者に寄り添った施策の充実のほか「秋田県外国人材受入サポートセンター」との連携を強化する。

マイナ保険証への対応は

問 政府が巨額の税金を投入してもマイナ保険証の利用が伸びないのは窓口で有効期限切れや被保険者である資格確認が無効と出たりするなどのトラブルが起きているからである。

答 市内の医療機関、薬局のカードリーダーの普及数、普及率はいくらか。利用率はいくらか。この制度に対して反対の意見も多いがどのように認識しているか。

答 医療機関や薬局の導入数は113、普及率は97%、利用率は国保で16%、後期高齢者保険で10%である。

マイナ保険証利用によるメリットや安全性を丁寧に伝え、市独自のマイナンバーカード利用による利便性向上に取り組んでいく。



佐々木隆一
(日本共産党)



開かれた教科書採択を

問 今年は教科書採択の年で中学校で来年度から4年間使う教科書の採択が行なわれた。その中には日本の侵略戦争を美化し憲法を変えて戦争する国づくりに誘導するかのようない「戦争回帰」が進められ教職員や保護者が危惧する教科書もあった。

答 教科書採択はどのようにして決まったのか。

答 市民や教職員から意見を募り、採択地区協議会がさまざまな観点から教科ごとに検討し、慎重に議論を進めてきた。

採択地区協議会では公正かつ適正に進めている。県のホームページに採択された教科書が公開されており、今後も厳正かつ適正に進めていく。



豪雨災害への対応は



泉谷 赴馬
(高志会)



問 復旧の見込みは。

答 被害箇所が膨大な数であるため、復旧は数年間のスパンになることも見込まざるを得ない状況である。現時点の方針としては、3年以内の復旧を目途に進めたいと考えている。

問 復旧の対応状況や復旧予定を随時公表すべきではないか。

答 公共災害復旧工事について、公式ラインアカウントやホームページを活用し、通行止めや災害箇所など、その復旧状況などをタイムリーに市民にお知らせできる方法を検討していく。

問 復旧まで時間を要する箇所の大雨や台風、降雪への対策は。

答 復旧が来年度以降と見込まれる箇所が多くある。対応

については適切に安全管理を行い、必要な箇所についてはブルーシートや土のうを設置するなど、被害の拡大防止に努める。

問 被災住家の解体費用を支援すべきではないか。

答 議員ご提案の転居を条件とした解体費用の支援は、その地域に残る市民との公平性の観点から困難と考えている。今後の研究課題として、他市の取り扱い状況等の情報収集に努める。

問 市政運営の財政的影響は。

答 市債借入額が多額になり、償還期間が10年と短期間であることから、後年度の財政負担は少なくないと考えている。今後の財政運営では、各種事業の先送りや事業費の平準化なども視野に入れて対応しなければならぬ局面も想定している。



豪雨による道路被害(久保田)

第33回全国市町村交流レガッタ薩摩川内大会

令和6年9月7日(土)から8日(日) 会場/川内川特設会場

鹿児島県薩摩川内大会に向けて私ども市議会クルーは、今年1月からアクアパルのフィットネスジムでの体力づくりに始まり、6月から8月末までは実戦形式での練習を重ね全国大会に臨みました。

議会議員の部には24チームが出場、大会初日には5組による予選が行われ、各組の1位だけが決勝に進み、2位以下は交流戦(タイムレース)に臨むことになります。

私ども、議会子吉川クルーは、予選で今まで経験のない波に翻弄されて愛知県東郷町議会に1秒78差の2位となり翌日の交流戦に臨むことになりました。交流戦当日は波も収まり、1月から取り組んできた子吉川クルーの練習成果を150%発揮。常勝チームの戸田市議会モクセイ、大津市議会αなどを押えて18クルー中第1位(1分31秒)となりました。

この成績は、議会議員の部決勝戦で第1位となった大津市議会βと、交流戦で第1位となった私ども市議会子吉川クルーとは0秒13差で、議員の部24クルー中第2位のタイムで漕ぐ事が出来ました。来年の第34回大会は13年ぶりに兵庫県豊岡市での開催となります。前回(第21回豊岡)の大会においては、子吉川クルーが議会議員の部第1位、鳥海山クルーがシニアの部第2位。また本荘由利森林組合が初優勝を飾っています。次期、豊岡大会に向けては、今年の反省を踏まえ更に進化し「ボートのまち由利本荘」のPRと交流に努めますのでご支援お願い致します。

(議会クルー 伊藤順男)



- 市議会参加メンバー 伊藤順男・長沼久利・三浦晃・佐藤健司・佐藤義之・小松浩一・甫仮貴子・松本学・泉谷赴馬
- チーム由利本荘参加クルー 森林組合L(決勝第2位)・森林組合(決勝第3位)・ちゃ田ま・んだべおん!・Teamやまと



「市民と語る会」開催

令和6年7月30日（火）カダーレを会場に、令和4年度から3回目となる「高校生と語る会」を開催しました。

今回は「**今後の由利本荘市について語り合おう**」ということで、市内4校の高校生18人、市議会議員14名が7つのグループに分かれ、それぞれのテーマに沿って話し合いをしました。今年度はさらに話し合いを深化させ具体的な取り組みに結び付くよう、事前アンケートからテーマを焦点化し、ワークショップ形式で話し合いを行いました。

各グループのテーマは次の通りです。

- 少子高齢化・人口減少への対策
- 学生の学習スペース
- 公共施設の利活用
- 秋田の良さや自然を生かしたまちづくり
- 若者向けの施設やイベント
- 農業の担い手減少への対策
- 高校での給食実施



どのグループの協議内容も、現代社会や本市の課題を捉えたもので、参加した生徒の課題意識の高さがうかがわれました。

協議を進めるにあたり、まずは本市の現状を話し合い、さらに理想とする本市の姿やそこに向かうための具体的な取り組みについて話し合いました。その後の全体会では、各グループから発表を行い、協議内容の共有化を図りました。

開催後実施したアンケートでは、他校の生徒や市議会議員と意見交換ができたことで、さまざまな意見を聞くことができた充実感や、本市のまちづくりについて話し合うことの新しさについての記述が多く見られました。また、自由記述の中には「由利本荘市を自分たちが作っていかねければという意識が生まれた」「地域との連携をしっかりし、いいまちづくりをしていきたい」など、本市のまちづくりを他人ごとではなく、自分自身の問題として積極的に捉える姿も見られました。高校生の由利本荘市を思う気持ちをうれしく思うとともに頼もしく感じました。

議会では、今回の語る会の内容を報告書としてまとめるとともに、市への提言としてあげるべき意見について検討していく予定です。

（実行委員会委員長 小松浩一）



議会日誌

7月	3日	市民と語る会実行委員会
	4日	議会報編集特別委員会
	16日	議会報編集特別委員会
	18日	山形県尾花沢市行政視察来訪
	19日	市民と語る会実行委員会
	24日	市民と語る会全体会 会派代表者会議
30日	市民と語る会「高校生と語る会」	
8月	5日	議会運営委員会
	7日	臨時会
		議会全員協議会
		総務常任委員会
	20日	教育民生常任委員会 議会運営委員会 会派代表者会議
26日	産業建設常任委員会協議会	
28日	本会議（開会）	
9月	4日	本会議（一般質問）～5日
	5日	議会運営委員会 決算審査特別委員会
	10日	委員会（議案審査）決算審査特別委員会～12日
	19日	決算審査特別委員会（主査報告） 議会全員協議会
		市民と語る会実行委員会
	25日	議会運営委員会 本会議（閉会） 議会全員協議会 市民と語る会全体会

市議会議員の辞職について
小川幾代議員が一身上の都合により10月9日をもって辞職しました。

議会を見よう！知ろう！

▶ 次の定例会は11/29~12/17 ◀

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、様々な手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。ぜひご覧ください。

- ★ 議会を傍聴！ライブで！
- ★ 会議録で読む
- ★ ケーブルテレビで生中継
- ★ 由利本荘市議会YouTubeチャンネルでライブ配信



由利本荘市議会
YouTube
チャンネル

市議会カレンダー

● 12月定例会の予定 ●



11月20日(水)
正午までに受理する
請願・陳情を審議
する予定です

日	月	火	水	木	金	土
11/10	11	12	13	14	15	16
			20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
					本会議 (開会)	
12/1	2	3	4	5	6	7
			本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
8	9	10	11	12	13	14
	常任 委員会	常任 委員会	常任 委員会			
15	16	17	18	19	20	21
		本会議 (閉会)				
22	23	24	25	26	27	28

議長公務(主なもの)

7月	2日	各期成同盟会等合同整備促進大会
	4日	東北日本海沿岸市町村議会協議会 総会(新潟県村上市)
	6日	あきた水と緑の森林祭
	13日	旧藩祭
	20日	本荘マリーナ海水浴場安全祈願祭 日本海洋上花火大会
22日	秋田県市議会議長会定例会	
8月	1日	東北日本海沿岸市町村議会協議会中央要望(東京都)～2日
	16日	鳥海獅子まつり
	31日	総合防災訓練
9月	1日	遠藤章博士を偲ぶ会 石川善兵衛翁の功績をたたえる植林記念祭
	7日	全国ボート所在市町村協議会議長懇話会(鹿児島県薩摩川内市)
	18日	本荘東小学校安全祈願祭並びに起工式
	27日	各期成同盟会等県内要望(市内・秋田市)
	28日	由利本荘・にかほ市民医学講座
	29日	市民ボート大会
	30日	市功労者選考委員会



【議長公務】
詳細はこちらから↑

議長交際費

	7月	8月	9月
慶祝、 協賛など	101,525円 (13件)	12,434円 (2件)	21,850円 (5件)
弔 事	0円 (0件)	0円 (0件)	0円 (0件)



【議長交際費】
詳細はこちらから↑

議会の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。(TEL24-6386)



鳥海中学校 3年
おたりの
太田 璃乃 さん
(町内名 野宅)

アイラブ
愛 LOVE
ゆりほんじょう
vol.36

子吉小学校 6年
ほりうち ひさと
堀内 陽智 さん
(町内名 宮内)



大好きなお祭りを大勢の人々へ

私 は鳥海町の笹子地域のお祭りである「月山神社祭典」が大好きです。私はこのお祭りに長年、踊り子として参加しています。踊り子は赤い着物と下駄を身に付け、町内を笛と太鼓のお囃子とともに練り歩きます。

お祭りにはたくさんの鳥海地域の人々が訪れます。見慣れた顔が多いので緊張しますが、踊り終わった後は、たくさんの温かい拍手と言葉で会場全体が包まれます。そんな温かい雰囲気が大好きです。

このお祭りが大勢の人々に伝わっていないのはとても残念に思います。今はSNSが普及している時代です。それらを上手く活用し、もっと鳥海地域や由利本荘市の良いところを知ってほしいと思いました。

自慢の秋田由利牛

私 の家は、黒毛和牛の子牛を育てる仕事をしています。その子牛がこの地域で牧草や米を食べて育つと、秋田由利牛になります。

以前、父に秋田由利牛のおいしさのひみつを聞いたことがありました。すると父は、おいしい空気と水が豊かなこの地域で、愛情を込めて育てているからだと教えてくれました。そのことを知り、自然豊かなここ由利本荘市でしか育たないおいしい秋田由利牛を、もっとたくさんの人に知ってもらい、味わってほしいと思いました。

秋田由利牛がいつまでも由利本荘市の自慢であり続けるように、今ある自然を大切にしたいです。私一人の力は小さいかもしれないけれど、できることから始めていきたいです。

まちの声から



鳥海地域

こまつ
小松 ことず江 さん
え

笑顔の輪

9月、町内会の敬老会・伊勢講・豊作祈願祭が行われました。このタイトルですと各家々の皆が参加できます。

婦人、子どもたちも演芸担当として参加します。今でこそ子どもが少なく幼児や児童による踊りは休止していますが、一昔前は青年団による踊りも披露されました。練習は仕事終わりの夜に集まります。町内名を入れた半纏も作りました。

今年、その半纏に袖を通すと懐かしいなと昔の青年団の声が聞こえました。踊りには手拍子だけでなく、一緒に歌ってもくれます。そして、あちらこちらに笑顔が広がります。

戸数も少なく、高齢化のまったただ中の集落ですが、老若男女そろっての宴はまた味わい深いものです。

笑顔の輪が今後も続くことを願います。

編集後記

一段と猛烈に暑かった今夏、地球は大丈夫かと改めて心配になった人も多いのではないのでしょうか。

熱波や豪雨災害など気候変動の影響は現状でも深刻です。7月下旬、市内にもかつてない豪雨が大きな災害をもたらしました。

上がり続ける気温に対し2030年までの対策が重要といわれています。変えるには世論と政治の力が不可欠です。

私たち一人ひとりがこの問題に真剣に取り組むことが必要でしょう。

(佐々木隆一)



議会報編集特別委員会

委員長
副委員長
委員

佐藤 正人
甫阪 幾代
小川 隆一
佐々木 孝徳
佐藤 義之
泉谷 起馬
三浦 晃
(議席順)